かがやけ!!

憲法ニュース No3

日本医労連憲法平和対策委員会
2013 年 11 月 26 日発行

秘密保護法法案反対！

本日２６日特定秘密保護法案が、衆院国家安全保障特別委員会で、自民、公明両党とみんなの党の賛成多数で可決されました。これに対し、日本医労連は中央執行委員会後、医労連会館内の専従者役員あわせて 32 名で「秘密保護法反対」の宣伝行動を行ないました。

参加者は次々にマイクを握り、安倍首相の改憲の動きを批判し、「国民の目と耳と口をふさぎ、基本的人権と民主主義を破壊する秘密保護法を廃案にしよう」「法案のねらいはアメリカと一緒に戦争する国づくりです」と訴えました。お昼休憩の時間でもあり行き交う人も多く、たくさんの通行人が興味を示しチラシを受け取りました。また、この宣伝行動に合わせた「秘密保護法に関するシール投票」では、投票をしたほとんどの人が「反対」に投票しました。共同通信の世論調査でも「反対」50.6%、「慎重審議を」82.7%となっており各界との共闘も広がっています。**「特定秘密保護法」に反対し、力を合わせて、憲法がくらしにいかされる国民生活最優先の政治と経済、社会を実現していきましょう。**

平和新聞より

シール投票結果

秘密保護法に

〇賛成　２

〇わからない　６

〇反対　３９